

厚生労働省
群馬労働局発表
平成27年1月29日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 寺村 裕司
主任産業安全専門官 長谷川隆雄
課長補佐 桑原 茂
(電話) 027-210-5004

平成26年の労働災害（速報値）は前年より大幅に増加
－死亡者数は過去7年間で最悪－

厚生労働省群馬労働局（局長 内田昭宏）管内では、平成26年1月から12月までの労働災害による休業4日以上¹の死傷者数は2,160人で、前年同時期に比べ154人増加（増加率7.7%）、死亡者数は27人で前年同時期に比べ10人増加しています。

そのため、群馬労働局では、労働災害が増加した業種に対して災害防止の取組強化を促すこととしています。

1 労働災害の発生状況（表1から4参照）

平成26年1月から12月までの労働災害発生状況（速報値）は、休業4日以上¹の死傷者数（以下「死傷者数」という。）は2,160人、死亡者数は27人でした。

死傷者数は前年同時期に比べ154人増加しており、7.7%増で、全国平均の増加率0.9%を大幅に上回り厳しい状況になっています。

なお、増減率を四半期ごとにみると、第1四半期（1～3月）が前年同期比32.1%増、第2四半期（4～6月）が前年同期比4.4%増、第3四半期（7～9月）が前年同期比5.0%増であったものが、第4四半期（10～12月）は2.5%減となっております。

(1) 業種別

ア 死傷者数が多い業種

業種	死傷者数	前年同期比増減数	増減率(%)	全産業に占める割合(%)
①製造業	711	56	8.5	32.9
				(製造業に占める割合)
食料品製造業	196	19	10.7	(27.6)
金属製品製造業	122	3	2.5	(17.2)
輸送用機械器具製造業	97	7	7.8	(13.6)
②交通運輸・貨物取扱業	312	35	12.6	14.4
道路貨物運送業	267	35	15.1	12.4
③建設業	275	20	7.8	12.7
建築工事業	165	23	16.2	7.6
土木工事業	52	-12	-18.8	2.4
その他の建設業	58	9	18.4	2.7
④卸売・小売業	250	26	11.6	11.6
小売業	209	11	5.6	9.7
全産業計	2160	154	7.7	100.0

イ 死亡災害

死亡災害を業種別にみると、製造業5人（前年同期比3人減）、建設業12人（同8人増）、交通運輸・貨物取扱業3人（同3人増）、その他の事業7人（同2人増）となっています。

(2) 事故の型別の状況

ア 全産業

年	型別	転倒	はさまれ 巻き込まれ	墜落・転落	その他	合計
全産業(人)		598	337	362	863	2,160
割合(%)		27.7	15.6	16.8	40.0	100.0
前年増減比(%)		29.4	-0.6	12.4	-2.3	7.7

(表5参照)

イ 死傷者数が多い業種

年	型別	転倒	はさまれ 巻き込まれ	墜落・転落	その他	合計
製造業(人)		155	209	64	283	711
割合(%)		21.8	29.4	9.0	39.8	100.0
前年増減比(%)		31.4	1.5	8.5	4.0	8.5
交通運輸・貨物取扱業(人)		74	37	85	116	312
割合(%)		23.7	11.9	27.2	37.2	100.0
前年増減比(%)		32.1	-5.1	14.9	7.4	12.6
建設業(人)		33	32	109	101	275
割合(%)		12.0	11.6	39.6	36.7	100.0
前年増減比(%)		32.0	0.0	23.9	-8.2	7.8
卸売・小売業(人)		100	17	25	108	250
割合(%)		40.0	6.8	10.0	43.2	100.0
前年増減比(%)		31.6	30.8	-10.7	0.9	11.6

(3) 年齢別の状況

ア 全産業

業種	年齢	～19歳	20～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	合計
全産業(人)		45	246	361	472	538	498	2160
割合(%)		2.1	11.4	16.7	21.9	24.9	23.1	100.0
前年増減比(%)		4.7	-6.5	4.6	1.9	17.7	14.5	7.7

イ 死傷者が多い業種

業種	年齢	～19歳	20～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	合計
製造業(人)		22	95	121	173	163	137	711
割合(%)		3.1	13.4	17.0	24.3	22.9	19.3	100.0
前年増減比(%)		69.2	6.7	-14.2	6.1	25.4	15.1	8.5
交通運輸・貨物取扱業(人)		2	24	44	104	91	47	312
割合(%)		0.6	7.7	14.1	33.3	29.2	15.1	100.0
前年増減比(%)		0.0	0.0	-15.4	42.5	9.6	9.3	12.6
建設業(人)		7	42	57	50	47	72	275
割合(%)		2.5	15.3	20.7	18.2	17.1	26.2	100.0
前年増減比(%)		-46.2	0.0	39.0	-7.4	2.2	22.0	7.8
卸売・小売業(人)		5	28	34	45	79	59	250
割合(%)		2.0	11.2	13.6	18.0	31.6	23.6	100.0
前年増減比(%)		0.0	-9.7	17.2	-4.3	43.6	3.5	11.6

(4) 経験年数別の状況

経験年数別	1年以内	1年超～3年以内	3年超～5年以内	5年超～10年以内	10年超～30年以内	30年超	合計
死傷者数	660	366	214	345	480	95	2160
全体に占める割合(%)	30.6	16.9	9.9	16.0	22.2	4.4	100.0
前年同期比(%)	5.1	6.7	-3.6	8.5	15.1	20.3	7.6

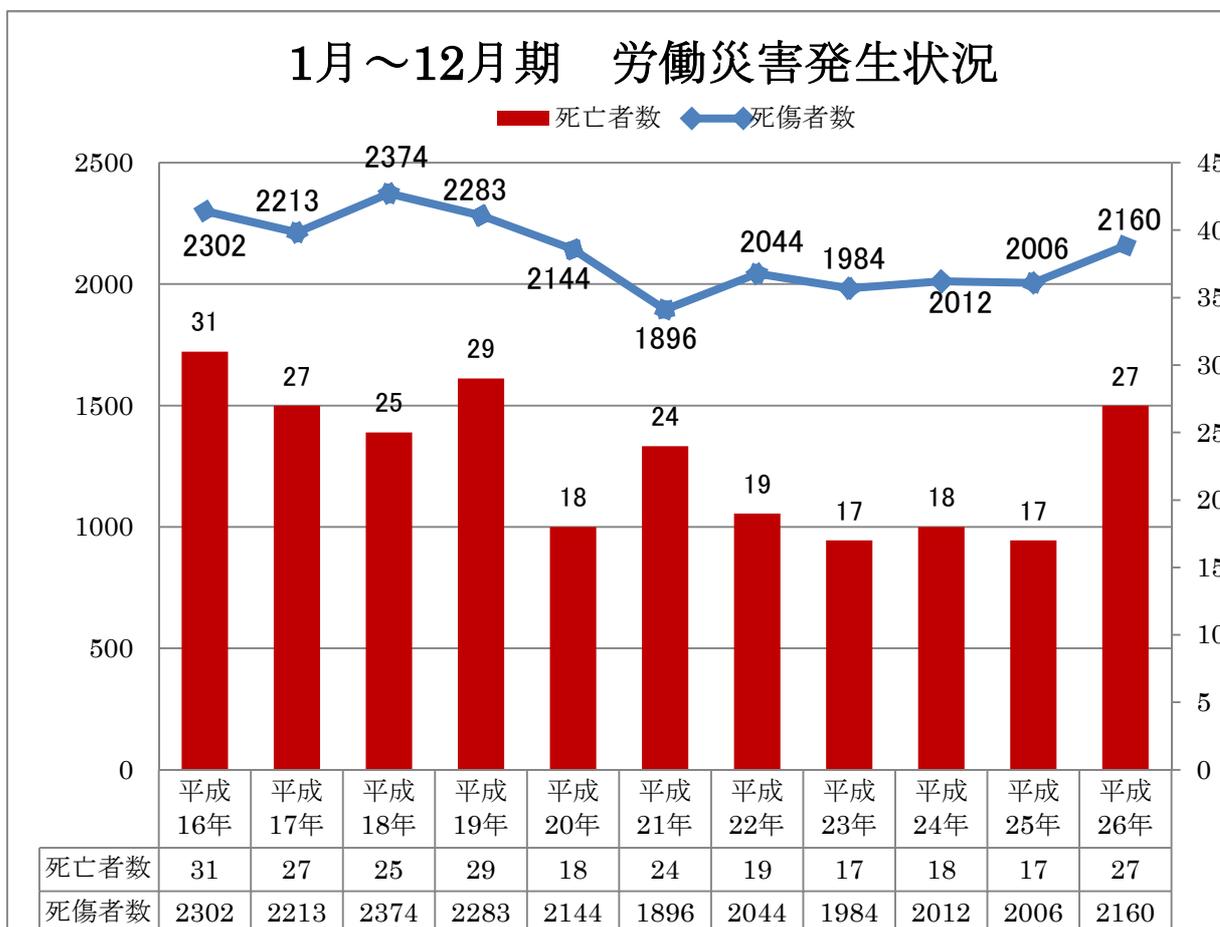
(5) 四半期ごとの増減率

	平成26年									
			第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	死傷者数	前年同期増減率(%)								
製造業	711	8.5	150	27.1	171	0.6	208	18.9	182	-5.2
食料品製造	196	10.7	42	23.5	40	-21.6	66	61.0	48	-5.9
金属製品	122	2.5	32	77.8	26	-25.7	30	-6.3	34	0.0
輸送機械製造	97	7.8	19	35.7	23	4.5	34	25.9	21	-22.2
運輸交通・貨物取扱業	312	12.6	65	6.6	85	9.0	82	39.0	80	1.3
道路貨物運送	267	15.1	55	10.0	70	6.1	70	45.8	72	5.9
建設業	275	7.8	58	41.5	70	12.9	78	-3.7	69	-2.8
建築工事	165	16.2	31	29.2	46	17.9	52	36.8	36	-12.2
土木工事	52	-18.8	14	55.6	14	27.3	12	-52.0	12	-36.8
その他の建設	58	18.4	13	62.5	10	-16.7	14	-22.2	21	90.9
卸売・小売業	250	11.6	54	74.2	64	23.1	73	-8.8	59	-3.3
小売業	209	5.6	44	57.1	56	21.7	59	-21.3	50	2.0
合計	2160	7.7	482	32.1	542	4.4	583	5.0	553	-2.5

2 労働災害の増加に対する対策の実施

群馬労働局では、死傷者数が前年より大幅に増加した状況を踏まえ、災害が多い業種及び増加した業種に対して、今後、重点的な安全衛生指導の実施のほか、関係団体への要請等の取組を引き続き実施し、平成27年の死亡者数を含む死傷者数の削減を図るため、さらなる労働災害防止対策を推進します。

表1



※ 死亡者数は死傷者数の内数です。

※ 平成22年より、脳・心臓疾患、精神疾患の死亡者数を含みます。

※ 各年の数値は同時期の速報値です。

平成26年 労働者死傷病報告受理件数表 表2

平成26年12月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		2			2			1	5	8	-3
		129	256	46	202	24	44	10	711	655	56
	食料品製造業	1							1	1	0
		36	95	4	38	7	15	1	196	177	19
金属製品製造業									0	1	-1
	27	39	13	35	1	5	2	122	119	3	
輸送用機械器具製造業						2			2	1	1
	11	23	1	56	0	5	1	97	90	7	
鉱業									0		0
	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	-3
建設業									12	4	8
	4	2		5	1				275	255	20
土木工事業									3	1	2
	19	11	2	8	6	2	4	52	64	-12	
建築工事業									4	3	1
	42	65	9	29	10	7	3	165	142	23	
その他の建設業									5		5
	2			3					58	49	9
	24	13	1	18	1	1	0				
交通運輸・貨物取扱業					3				3		3
	57	140	14	85	8	7	1	312	277	35	
道路貨物運送業					3				3		3
	47	120	12	77	4	6	1	267	232	35	
林業									0		0
	6	0	7	0	4	3	1	21	23	-2	
上記以外の事業									7	5	2
	194	314	69	146	54	28	35	840	792	48	
小売業									3		3
	43	95	20	35	10	6	0	209	198	11	
通信業									0	1	-1
	19	24	6	13	3	1	0	66	61	5	
社会福祉施設									0		0
	15	38	6	11	6	2	1	79	75	4	
旅館・ホテル業									2	1	1
	1	14	0	0	9	0	10	34	37	-3	
飲食店									0		0
	15	17	5	7	1	2	1	48	53	-5	
計	6	6	1	10	2	0	2	27	17	10	
	471	800	148	488	107	92	54	2,160	2,006	154	
前年同期	4	3	1	6	1	1	1	17			
	425	719	137	476	83	102	64	2,006			
増減	2	3	0	4	1	-1	1	10			
	46	81	11	12	24	-10	-10	154			

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	1							1	3	-2
	130	229	35	131	31	27	15	598	462	136
食料品加工用機械災害								0		0
	4	17	4	6		2		33	40	-7
建設機械災害								2	1	1
	6	7	2	7	3	1	2	28	33	-5
クレーン・玉掛災害								1		1
	1	27	2	13	2	3	1	49	33	16
外国人の災害								0	1	-1
	3	27	7	49	4	2	1	93	94	-1
公共工事の災害								3	1	2
	14	9	1	7	2	3	1	37	33	4
交通労働災害								4	3	1
	15	41	10	31	9	2		108	123	-15
荷主先災害								0		
	26	70	7	42	2	4		151		

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

平成26年 死亡災害発生状況

平成26年12月末現在
群馬労働局

業種 \ 年	24年	25年	26年	対24年比	対25年比
製造業	2	8	5	3	-3
鉱業	1			-1	
建設業	5	4	12	7	8
交通運輸・ 貨物取扱業	3		3		3
林業	2			-2	
その他	5	5	7	2	2
計	18	17	27	9	10

表4

平成26年死亡災害事例(建設業以外)

(脳・心臓疾患、精神障害を除く)

平成26年12月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別	署別
1	1月 10時頃 6人	55歳 男 整備士	整備工場内でワンボックスカーの後部を上げてうまで支えて後輪を2本外した状態で車体の下に上半身を入れて作業していたところ、なんらかの理由でうまから車体が落ち、挟まれた。	自動車小売業	はさまれ・巻き込まれ	その他の用具	前橋
2	1月 4時頃 110人	60歳 男 配達員	新聞配達のため県道をバイクで走行中、対向の乗用車からはみ出してきて正面衝突した。	新聞販売業	交通事故	乗用車等	沼田
3	2月 3時頃 29人	54歳 男 運転手	トラックで国道を走行中、停止していた大型トラックに追突した。	一般貨物自動車運送業	交通事故	トラック	太田
4	2月 7時頃 41人	55歳 男 製造工	作業者が機械装置の異常に気付き、確認したところ、機械装置と産業用ロボットの間に挟まれていた。	非鉄金属製造業	はさまれ・巻き込まれ	産業用ロボット	高崎
5	2月 15時頃 16人	71歳 男 雑務係	大雪のため、ホテルの駐車場で自車の中でエンジンを掛けて除雪車を待っていたと思われる被災者が、一酸化炭素中毒死の状態で見えられた。	旅館業	有害物との接触	有害物	中之条
6	2月 1時頃 9人	66歳 女 清掃係	雪が降り続きホテルの駐車場で自車の中でエンジンを掛けて雪の状態を見ていたと思われる被災者が、翌朝、一酸化炭素中毒死の状態で見えられた。	旅館業	有害物との接触	有害物	前橋
7	2月 11時頃 6人	53歳 男 製造工	惣菜の調理場で、揚げ物を調理中、油の入った鍋に両腕をついたため肘以下火傷を負った。病院で3月に低酸素脳症で死亡した。	その他の小売業	高温・低温の物との接触	その他の装置、設備	桐生
8	4月 14時頃 35人	46歳 男 製造工	製品を脱脂・洗浄を行う洗浄槽において、有機溶剤を排出した後の槽内底部に沈殿した鉄粉等のヘドロを清掃する作業中、槽内で昏倒し、17日後に搬送先の病院で死亡した。	自動車・同付属品製造業	有害物との接触	有害物	太田
9	5月 23時頃 25人	42歳 男 製造工	ウレタン成形機で作業中、成形機内にウレタンカスを発見し、それを除去しようと成形機の可動範囲に立ち入ったところ、成形機が稼働しフレーム部分に胸部が挟まれた。	自動車・同付属品製造業	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	太田
10	5月 19時頃 16人	46歳 男 運転手	大型トレーラーを運転し東京での荷卸しを終え、本社に戻るため高速道路を走行中、本線とパーキングエリア分離帯に設置された衝突緩衝用クッションドラムと案内標識に激突した。	一般貨物自動車運送業	交通事故	トラック	太田
11	6月 15時頃 2人	45歳 男 製造工	会長所有の山林の手入れのため山林に入り、高さ約24m、胸高直径32cmの杉をチェーンソーで伐倒したところ、伐根から地上3.5mのところまで裂け、天秤状態になり、伐木の近くに立っていた被災者に激突し、反動でそのまま約38度の法面を滑落し、死亡した。	食料品製造業	激突され	立木等	高崎
12	6月 16時頃 15人	61歳 男 製造工	生コン製造終了後、プラントのミキサーの清掃作業(通常10分程度の作業)を単独で開始しが、30分程しても戻らなかったため、同僚が様子を見に行ったところ、右大腿部をミキサー内の攪拌機に挟まれた状態で、死亡していた。	セメント・同製品製造業	はさまれ・巻き込まれ	混合機	中之条
13	7月 3時頃 8人	56歳 男 運転手	24tトレーラーで長岡方面に走行中、歩道に接触したため、ハンドルを切ったところ、橋の欄干に乗り上げるように衝突し、その衝撃で橋の下の国道に墜落した。	一般貨物自動車運送業	交通事故	トラック	太田
14	8月 10時頃 2人	34歳 男 作業員	民家の小屋の屋根の上に乗って檜の生垣の剪定中、4.5m下に墜落し、頭部を負傷し、1か月後に死亡した。	農業	墜落・転落	屋根等	前橋
15	9月 14時頃 5人	64歳 男 作業員	森林公園内の歩道脇に立ち枯れしていた栗の木(胸高直径30cm)をチェーンソーで伐倒した際、かかり木になり、かかり木の根元を玉切りしたところかかり木が跳ねて、その枝が頭部に激突した。	その他の事業	激突され	立木等	前橋

表4

平成26年死亡災害事例(建設業)

(脳・心臓疾患、精神障害を除く)

平成26年12月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別	署別
1	1月 13時頃 8人、11人	51歳 男 据付工	工場構内の屋外で移動式クレーンで機械装置を吊り上げて据え付け作業を行っていた。吊り荷が揺れて単管足場上にいた被災者が吊り荷を避けようとして3.5m下の地上に墜落した。	民間	墜落・転落	移動式クレーン	太田
2	3月 11時頃 3人、3人	50歳 男 解体工	スレート屋根上で屋根の解体作業をしていたところ、スレートを踏み抜き、4.5m下の土間に墜落した。	民間	墜落・転落	屋根等	太田
3	3月 10時頃 120人、132人	31歳 男 運転者	建設工事現場で、内装の配線作業を行っていた被災者が、高所作業車(作業床の高さ10m未満)の手すりと上部配管ラックに首・胸部付近を挟まれた。	民間	はさまれ、 巻き込まれ	高所作業車	太田
4	5月 16時頃 1人、5人	59歳 男 大工	木造2階建住宅新築工事現場で、屋根の垂木を平行に設置するため一時的に垂木に設置した部材(以下「胴口」という。)を他の場所で使用するため、高さ3.3mの梁に上り胴口を取り外し中、バランスを崩しコンクリート製基礎まで墜落した。	民間	墜落・転落	屋根等	沼田
5	6月 16時頃 80人、8人	23歳 男 電工	電車の架線の上で、高圧線(6600V)及び高圧アレスター(落雷等による過電流を逃がす装置)の付け替え作業中、高圧線の通電部に接触し感電した。	民間	感電	送配電線等	太田
6	7月 14時頃 11人、5人	71歳 男 作業員	コンクリート製砂防擁壁(高さ3.5m)の型枠の脱型をするため、同僚から金属製型枠1枚(縦150cm×横30cm×厚さ5cm)の押さえを頼まれ、型枠のリム(幅5cm)を足掛かりに1.5mまで上り脱型を終了後、下流方向に移動中に地上に置かれた鋼製型枠に顔を打ち付けて倒れていた。直ちに病院に搬送され治療中であったが、7月中旬に死亡した。	県	墜落・転落	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等	高崎
7	8月 13時頃 31人、2人	64歳 男 防水工	木造2階建てのバルコニー防水工事の作業を行っていたところ、熱中症により倒れ病院に搬送後死亡した。	民間	高温・低温 の物との接 触	高温・低温 環境	前橋
8	8月 16時頃 2人、2人	59歳 男 電気工	小学校校舎教室内で空調リモコン取付作業中、剥がしておいた天井板を復旧するため、高さ1.6mの脚立を使用して、充電ドライバーでビス止め作業中、何らかの原因でバランスを崩し、木組床面に墜落し頭部を強打した。直ちに病院に搬送され9日後に死亡した。	町	墜落・転落	はしご等	高崎
9	8月 10時頃 6人、2人	64歳 男 補助作業員	コンクリートブロック(重量約0.5t)をドラッグショベルを使用してダンブに積込作業中、つり上げるために近づいた時に転倒し、オペレーターが慌てて運転席から立ち上がった際に、運転席のレバーに触れブームが下降しバケットが頭部に激突され死亡した。	民間	激突され	整地・運 搬・積込用 機械	前橋
10	9月 9時頃 17人、3人	33歳 男 作業員	重量20t、能力150tのプレス機械(高さ4.8m×幅1.7m×奥行1.8m)を移設するため、被災者と同僚の2名で深さ0.5mのピット内でジャッキアップ中に、傾いて倒れ、プレス機械の下敷きになり死亡した。	民間	激突され	プレス機械	太田
11	9月 11時頃 5人、4人	30歳 男 電工	3階建のアパート屋上で携帯電話の配線、端末設置作業中、資材等を3階フロア降ろすため、屋上から3階へ下りる際、昇降ステップから墜落し、3階腰壁のすりにぶつかり、6.9m下の1階の敷石床に激突、直ちに病院に搬送されたが、1週間後に死亡した。	民間	墜落・転落	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等	高崎
12	10月 13時頃 10人、2人	34歳 男 作業員	河川敷法面を動力式草刈り機(重量約1.5t)に乗り除草作業中、傾斜約40度の法面から草刈り機とともに転落し、草刈り機の下敷きとなり死亡した。	県	転倒	その他の 一般動力 機械	高崎

表5

1月~12月期の年別・事故の型別の労働災害発生件数

